快　適　な　住　空　間　を　め　ざ　し　て

ALIA

Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）は、
住宅設備および建材に関わる企業・団体で構成される法人です。
快適な住空間の提供をめざし、
調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいます。

一般社団法人リビングアメニティ協会

ご挨拶

一般社団法人
リビングアメニティ協会　会長

内藤　弘康

一般社団法人リビングアメニティ協会は、昭和 51 年に創設された BL 推進協議会を平成 2 年 10 月に発展的に改組して誕生し、平成 24 年 4 月より一般社団法人化いたしました。当協会は、「優良な住宅部品の普及により快適な住生活の改善を図る」という目的に沿い、機能的で良質な住宅部品の供給促進と、快適な住空間作りのための調査研究および情報交換を推進して参りました。しかしながら、住宅産業を取り巻く環境は大きく変化してきております。

『都市の低炭素化の促進に関する法律』には、省エネ性能が高い住宅などを地方自治体が認定する『認定低炭素住宅』の創設などが盛り込まれました。低炭素化社会に向けた住まいと住まい方推進にかかる工程表のなかでは、2020 年頃までに新築住宅の省エネ基準適合義務化を目指し、2030 年の新築住宅の平均で ZEH（ゼロエネルギーハウス）化を目指しています。

したがいまして住宅部品は、今後ともより高性能で多機能なものが求められると考えられます。例えば、高齢者対応、シェア居住など住まい手、住まい方の変化への対応、創エネルギー、蓄エネルギーなど住宅に対する新たな機能の要請、HEMS や性能表示など「見える化」への対応などがあげられます。

一方、ストック型社会への移行、長期に利用する住宅の普及を念頭に置くと、住宅部品においても長期にわたり良好な状態で使用することが、基礎的な要件としてますます重要になります。定期的に住宅部品を点検し、不具合、劣化、異常などを早期に発見し、整備、修理、交換などを行うことが、特に経年劣化による安全上の支障を除去、緩和する点からも必要になります。

当協会では、省エネルギー基準改訂や低炭素法による認定などの国の政策を受けて、住宅の省エネ基準適合義務化への対応に向けた活動、また省エネ性能だけでなく、耐震性、バリアフリー性などに優れた住宅の普及促進活動を進めてまいります。住宅リフォーム市場の活性化についても、国の新成長戦略では 2020 年までにリフォーム市場規模を倍増化する目標が掲げられております。

これらの変化に的確に対応していくため、原点に返っての活動が大切だと考えます。ひとつは生活者のニーズを把握し、住生活向上のために何が必要かを常に念頭に置くことです。もうひとつは、一企業の努力は当然のこととして、協会各社が知恵を出し、行政の後押しも頂きながら、一致協力して業界発展に尽くすことです。

幸い当協会は、様々な種類の住宅部品を生産する多くの企業が会員です。国土交通省のご指導、独立行政法人　住宅金融支援機構、独立行政法人　都市再生機構、公益財団法人　住宅リフォーム・紛争処理支援センター、一般財団法人　ベターリビングとの協調、さらに関連諸団体とも連携し、業界の発展のため様々な研究や情報発信に努めて参ります。

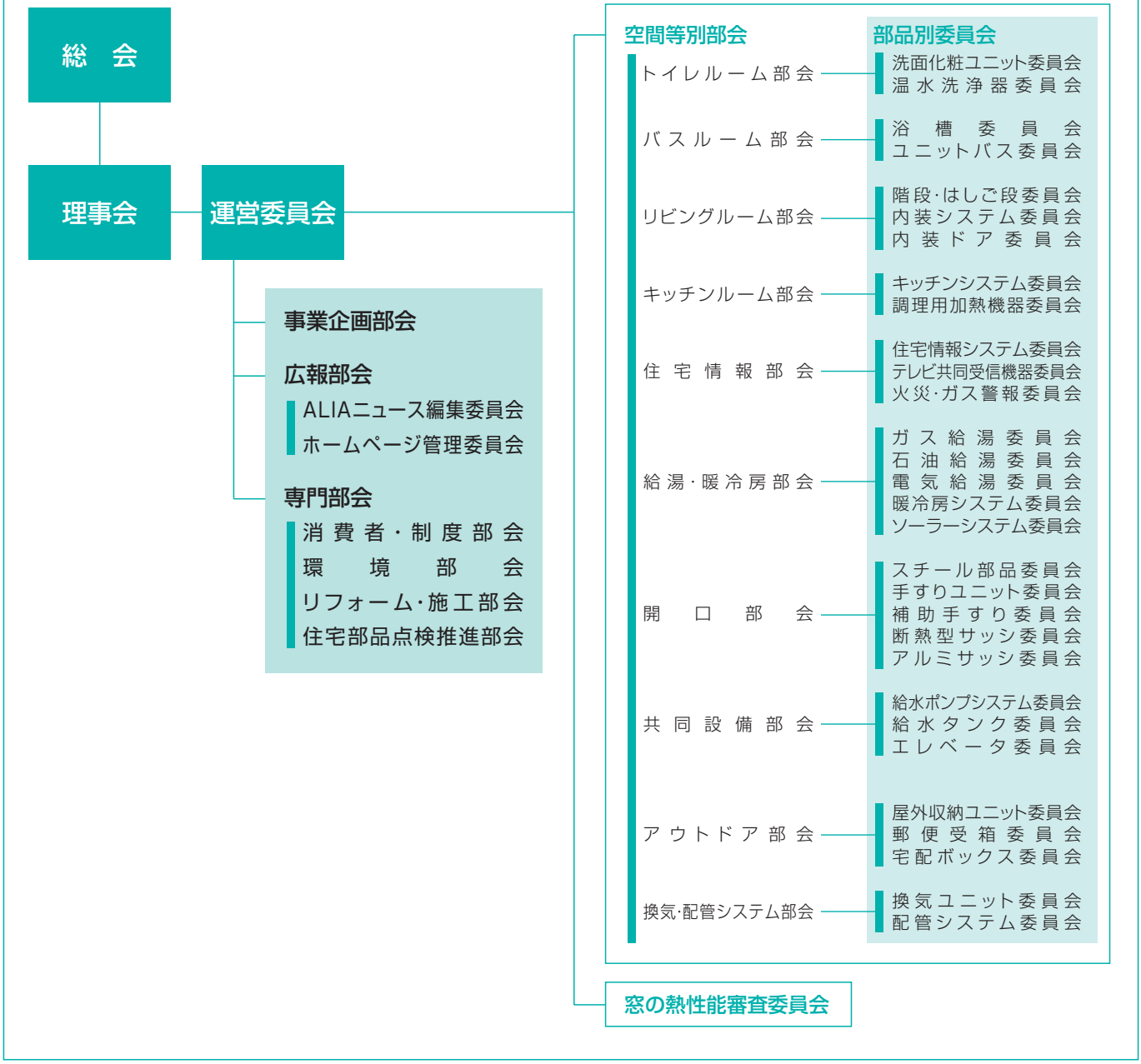
今後とも皆様のご協力をお願いするとともに、さらに多くの企業のご入会と活動へのご参画を期待します。

活動内容

■優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究
■住宅部品の機能、性能に関する調査研究
■優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等
■住宅部品の供給（流通を含む）や施工に関する調査研究
■住宅部品の使用、利用に関する調査研究
■住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発
■政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等

委員会活動内容の紹介

組　織　図



●専門部会

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

●空間等別部会

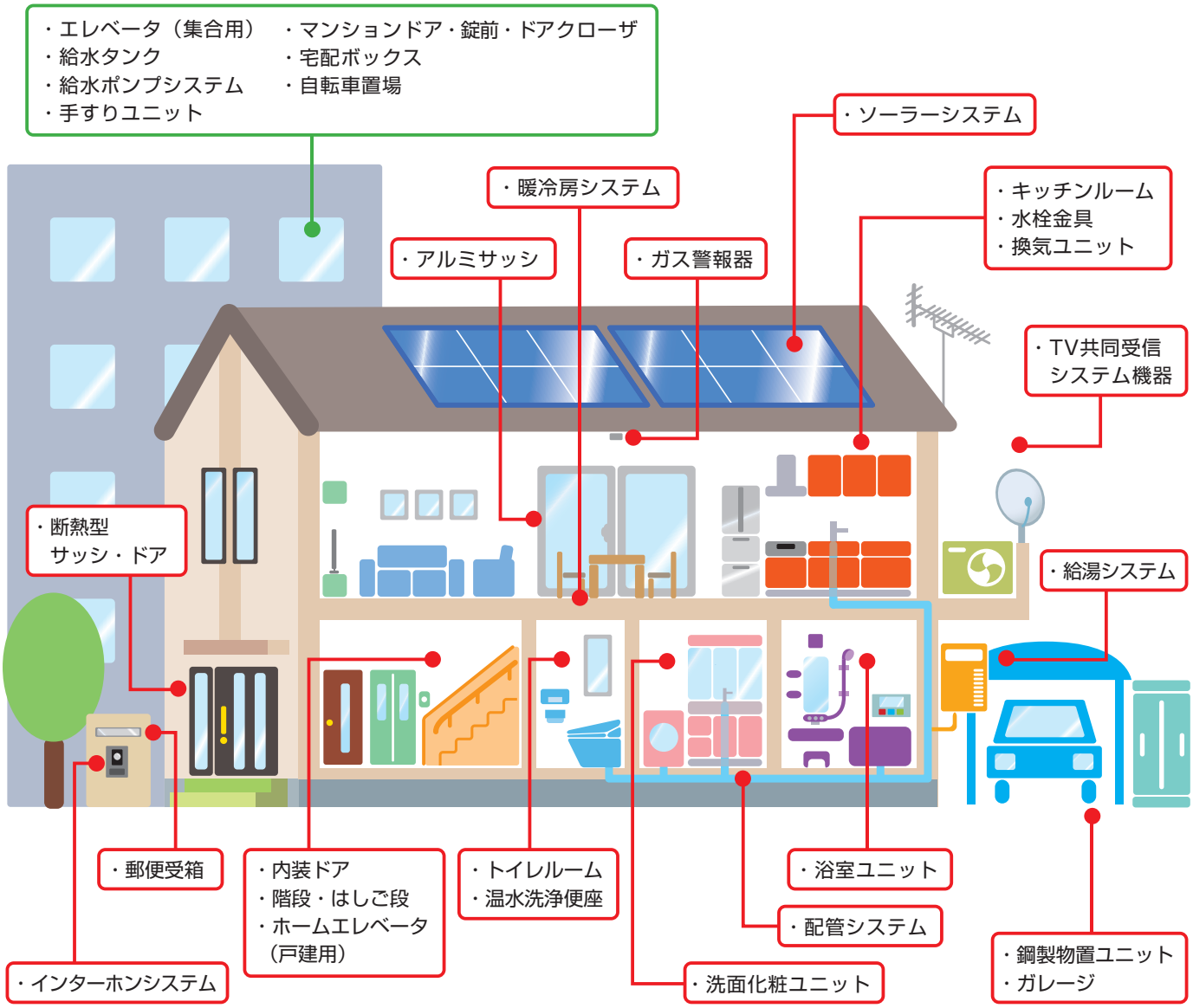
バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社のレベルアップをはかるのにとても有効な活動を行っています。

アメニティCafe

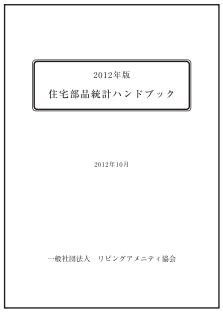
住宅部品や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

詳細はホームページにて

アメニティCafe　検索



出版物等



●住宅部品統計ハンドブック

●住宅部品の自主点検表

●施工ガイドライン

●内装建材の警告表示に関するガイドライン

●住宅部品VOC表示ガイドライン

●換気設計事例集

●デジタル放送対応テレビ共同受信機器システムカタログ

住宅部品点検の日

長期に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に住宅部品の点検活動に関する記載の充実を進めています。一方で、広く国民の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的とする「住宅部品点検の日」（10月10日）を制定しました。

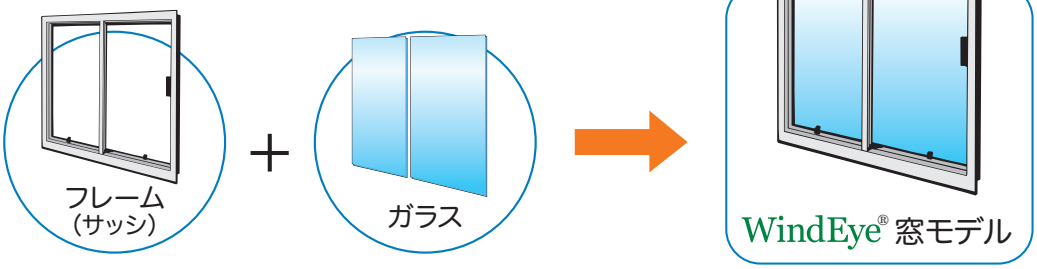
制定宣言については **こちら** をご覧ください。

（http://www.alianet.org/check/）

窓の総合熱性能評価プログラム

WindEye®で窓全体（フレーム+ガラス）の熱貫流率（U値）を任意の窓サイズで計算可能 ➡ **「窓の断熱性能表示制度」に対応できます**

「窓の断熱性能表示制度」対応版



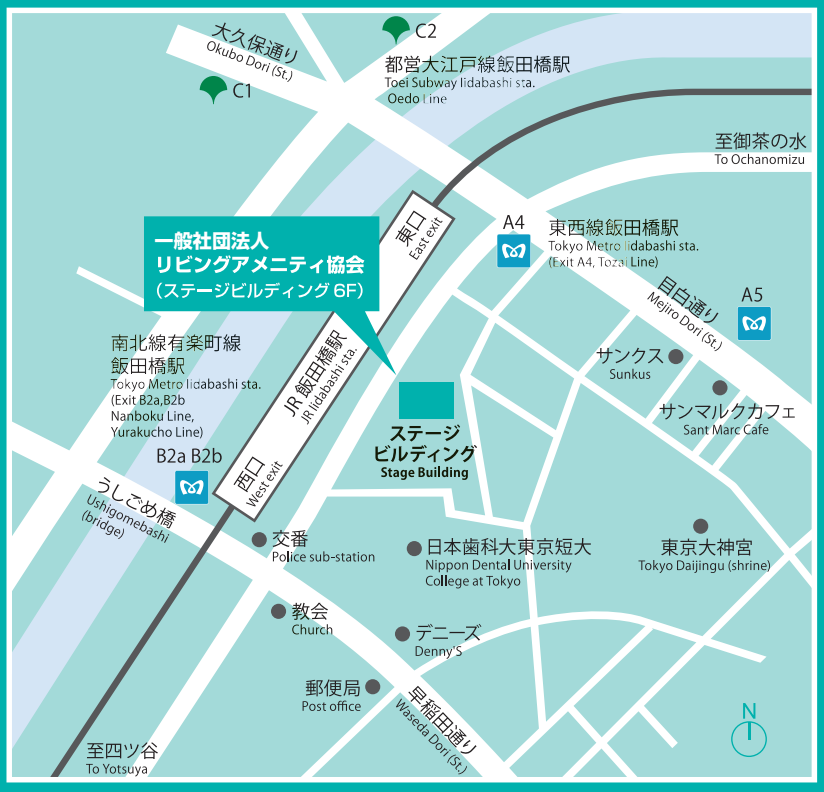
WindEye®の特長

- フレーム、ガラスを一体として評価しています
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです
- 新しい情報を皆様にご提供していきます
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます
- ALIAのホームページから無料でご利用できます

●窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEye（「窓の断熱性能表示制度」対応版）を開発しました。個別の製品であるサッシ、板ガラスを任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。次世代省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるサッシ、板ガラス、ブラインドを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの表示性能の拡大、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、より多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。



一般社団法人リビングアメニティ協会

〒102-0071　東京都千代田区富士見二丁目7番2号
ステージビルディング　6階
TEL.03-5211-0540　　FAX.03-5211-0546
ホームページアドレス：http://www.alianet.org

●電車でのアクセス
JR飯田橋駅　東口･西口　徒歩3分
東京メトロ南北線･有楽町線･東西線
都営大江戸線飯田橋駅　A4出口　徒歩2分